

# 令和6年度 神奈川県立大磯高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時 令和7年3月19日(水) 15:30~16:20

開催場所 本校会議室

## 出席者

立花 ますみ	大磯高等学校 校長
常盤 健嗣	大磯高等学校PTA 会長
桜田 京子	横浜国立大学教職大学院連携教授
八木 英一郎	東海大学政治経済学部教授
小澤 香苗	株式会社タウンニュース

## 欠席者

秋本 篤史	大磯町政策総務部 政策課長
櫻井 英明	大磯町立大磯中学校 校長
小嶋 勝巳	大磯町東町地区 区長
村上 実樹	株式会社SCN 営業部

## 事務局

副校長、事務長、教頭、教務G(井出)、進路指導G(鈴木宏二)、研究開発G(奥川)、生徒支援G(山本)、生徒会G(菊川)、総務G(芳賀)、研究開発G(福島・吉田) 出席13名

## 議事

### 1 校長挨拶

令和7年度入試の倍率  
卒業式も晴天に恵まれた  
75期生の進路実績良好  
大磯町、磯高と麻布大学の提携 協定締結  
ラグビー部の実績

### 2 議長選任

八木英一郎氏を選任

### 3 協議

各グループ

#### 教務

#### ①入学者選抜の状況について

定員279名に対して、最終的な志願者数は337名で、競争率は1.21倍となった。令和6年度が1.25倍だったので、若干下がったが、近隣で大磯高校と同偏差値帯である西湘高校が1.15倍、また同偏差値帯かつ大磯高校同様グローバル指定を受けている鶴嶺高校が1.17倍であることを考えると大磯高校の人気の高さが伺える

志願者の中には川崎からの受検生も2人いたことに驚いた。遠い大磯高校に魅力を感じてくれたことは喜ばしいことである

#### ②成績処理に係る事故防止等について

神奈川県内の公立高校では成績処理の際には成績処理シートというものを作成することになっている。ABCと言った観点別評価や評定の根拠となる数字をそのシートに入れ「見える化」することで、事故防止につなげている。また、もし生徒や保護者から成績付けに関して質問があった際には、その処理

シートが説明の根拠資料となる。学校で共通の処理シートを作っている学校もあるが、本校にはなく、処理シートの作成にあたっては、本校のルールに則りやっただくようお願いしている。書式は各科目にお任せしているが、一部、評価評定の根拠が読み取りにくいという現状がある。そのため共通版の成績処理シートを作成することとなった。事故防止、明瞭さという観点を第一におき共通版の成績処理シートの原案を作成した。各教科からのご意見をいただきながら来年度からの運用を目指している

## 生活支援

### ①教育相談等について

全体の相談対応件数は昨年度より増加（107件⇒171件）した。これは、「かながわ子どもサポートドック」により悩みや課題を抱えた生徒に対して、プッシュ型面談を実施したことが主な理由と考えられる。また、教育相談の85%において、「問題が解決した」「状況が好転した」となっており、目標とした「過半数」を大きく上回る良い効果が出ている。来年度も悩みや課題を抱える生徒に寄り添える支援体制を確立してたい

### ②交通安全指導について

これまで大磯高校では、自転車通学者に対する交通安全指導を年間10回程度実施してきた。今年度は、新入生の制服が一新されたことも踏まえ、交通安全指導に併せて服装指導を実施したことで、昨年より指導の機会を多く設けることができ、自転車の危険運転やマナー違反等に加え、制服の不適切な着用についても指導でき、生徒の規範意識を高めることができた

### ③地域連携のうち、大磯町や麻布大学との連携について

校長先生からの挨拶であったように大磯高校、大磯町、麻布大学の三者による「人と動物と環境の共生に向けた連携と協力に関する協定」を締結した。引き続き、地域の課題解決に向けて、三者が連携して取り組んで行く

## 生徒会

### ①部活動の状況等について

12月にお伝えしたことと被るところもあるが、本年度の成果として男子バスケットボール部、男女バレーボール部、男女バスケットボール部、卓球部等で地区大会を勝ち抜き県大会に出場している。また、吹奏楽部は地区大会、県大会を勝ち抜き、横浜で行われた東関東大会に出場する成果を収めた。ラグビー部は神奈川選抜チームに3名選出され先週末行われた関東大会で準優勝となった。また、SF研究部、ダンス部、生徒会本部などは大磯町で開かれた催しに参加し、生物同好会やTeacook同好会は大磯町や麻布大学と連携した活動に今月参加することになっている

### ②文化祭、体育祭等の行事について

5月に行われた体育祭は雨天のため、2日順延して30日に実施された。1~3年までの縦割りチームを組み、団長を中心に各競技やダンスなどが行われた。8月の文化祭も荒天のために8月30日の校内発表や中夜祭は中止となったが、31日の一般公開は雨天の中、地域の方々にもご来校いただき、盛況のうちに終了した。後夜祭は中止になってしまったが、実行委員会の企画により、改めて9月27日の球技会の午後の日程で後夜祭の代替行事を行った。また、本日の球技会は雨天のためドッジボールを体育館で行った

## 進路指導

### ①校内における進路指導や研修について

生徒に対しては、年間を通して様々な形での進路ガイダンスを実施いたしました。集会形式でガイダンスを行うだけでは、生徒の主體的な取組を引き出せないこともあるので、今年度は動画配信など、ガイダンスの形にも工夫を加えております。引き続き実施方法に改善を加えながら、生徒がより高い目標を持つことができるよう、支援して行く。

また、保護者に対しても年間を通して複数回、進路ガイダンスを実施した。基本的には本校の総括教諭がお話をさせていただいたが、駿台予備学校の方を複数回お招きし、最新の進路情報も提供いた

だいた。次年度も、保護者のニーズをくみ取りながら、きめ細やかなガイダンスを実施していこうと考えている

## ②指定校推薦、一般受験等の進路決定状況について

今年度の進路決定状況の特徴として、大きく2つ挙げられる。

1つは、難関大学での健闘。国公立大学の合格者は昨年度5名のところ、今年度は横浜国立大学をはじめ、8名の生徒が合格している。また私立大学の合格述べ人数においても健闘した。早稲田大学は昨年度2名のところ今年度6名合格、明治大学は昨年度8名のところ今年度12名合格など、その他は昨年度2名のところ今年度6名合格、明治大学は昨年度8名のところ今年度12名合格など、その他難関大学でも昨年度に比べ健闘をした

もう1つの特徴は、総合型選抜や学校推薦型選抜など、いわゆる「年内入試」で合格した生徒が多かったことが挙げられる。昨年度は110名の生徒が「年内入試」で進路先を決定しましたが、今年度は124名の生徒が「年内入試」で進路先を決定した。引き続き、面接指導や小論文指導など、生徒に対し、きめ細やかな指導を行って行く

## 総務

### ①地域と連携した防災訓練、海岸清掃等について

避難訓練に加え地域との連携 大磯町と連携しているノジマ大磯スクエアに行った。東町との連携での避難訓練も行った

### ②学校説明会など広報活動について

学校説明会は好評だった

また、毎年行っているが、七夕への参加や清掃活動などの地域との連携をした

## 研究開発

### ①授業改善

生徒の自己肯定感が低いことが課題として見えたが、その他の項目は右肩上がり  
来年度もさらに授業改善に取り組んでいきたい

### ②グローバル指定事業

別紙、指定校事業実施報告書参照。指定校として3年目が終了。来年度が2期目に入るが、まだまだ課題もあるため、学校全体での取組となるように、グループ間、教科間で情報を共有していきたい

## 管理・運営

### 不祥事防止

職員会議後に行っているが、風通しの良い職場づくりになっていたかどうかは要検討

## 質疑

進学実績が今年良かったが、何が良かったのか

教科担当の工夫、横並びでの連携が功を奏したか

### 生活指導について

常日頃指導しているが、節目節目に改めて指導している

### 教育相談について今の生徒たちの特徴は

集団生活が苦手な生徒が増えてきた印象。グループで上手くいかない、家庭内の問題、行事を休む

## その他

2027年100周年に向けて動きたい

記念誌も学校の中で材料を集めている段階

生徒にも関わってもらおう予定でいる（キャッチフレーズなど）

## 閉会